

内閣官房

情報収集衛星の開発・運用事業費（内閣衛星情報センター）

31年度概算要求額 744.0億円【うち優先課題推進枠 197.1億円】
（30年度予算額 620.0億円）

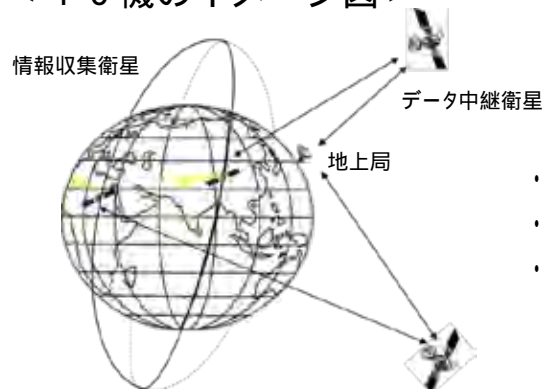
事業概要・目的

外交・防衛等の安全保障及び大規模災害等への対応等の危機管理のために必要な情報の収集を主な目的とした情報収集衛星の開発等を行い、政府の情報機能を強化します。主に以下の施策を実施します。

- (1) 「基幹衛星」4機に、「時間軸多様化衛星」4機及び「データ中継衛星」2機を加えた合計10機の整備を目標とし、着実に衛星開発を進めます。
- (2) 即時性の向上やデータ量の増加に対応した地上システムの開発を進めます。
- (3) 情報収集衛星システムの機能・性能の抜本的向上のため、重要技術の先行研究開発を進めます。

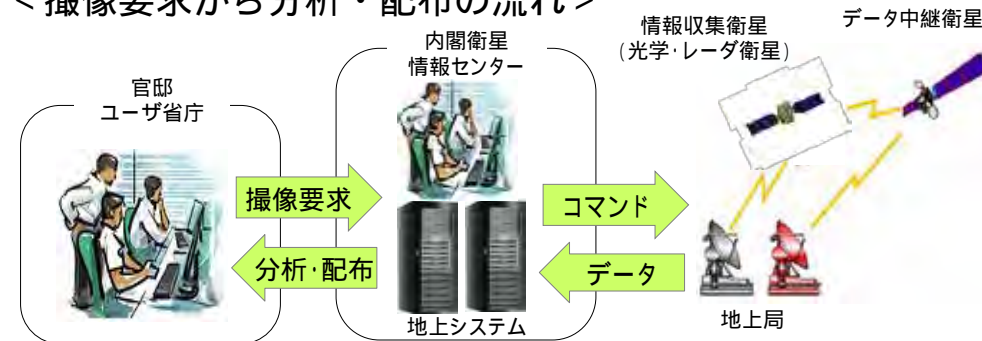
事業イメージ・具体例

< 10機のイメージ図 >

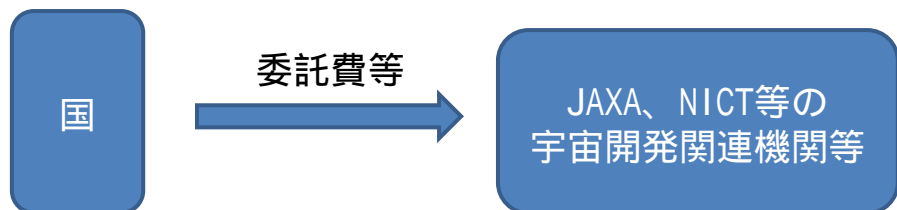


- ・光学衛星4機
- ・レーダ衛星4機
- ・データ中継衛星2機

< 撮像要求から分析・配布の流れ >



資金の流れ



期待される効果

外交・防衛等の安全保障及び危機管理のために必要な情報の収集を確実にし、安心・安全な暮らしの実現に貢献します。